

2020年3月15日

地域の皆様へ

総合病院 南生協病院
院長 長江浩幸

安全を確認しましたので 南生協病院の救急外来・新規入院・夜間診療を再開いたします

1. 病院の再開について

3月1日(日)より休止していた南生協病院の救急外来・新規入院・夜間診療を3月16日(月)より再開いたします。

※一般外来につきましては、3月9日より再開しております。

この度は、地域の皆様にご迷惑・ご心配をおかけし、大変申し訳ございませんでした。

① 救急外来・新規入院・夜間診療の再開

2週間の観察期間中に患者様・職員への新たな感染は認めず、院内感染は起きていないため、救急外来・新規入院・夜間診療を再開します。

病院再開にあたり、いつ新型コロナウイルス感染症疑いの患者様がいらっしゃっても対応できるよう、肺炎・発熱患者様の対応策を見直し、病棟での対応手順を整えました。

入院患者様の面会については、感染拡大防止の観点から引き続き制限を行います。

② 職員の体制について

当初、接触の可能性があるととして休業していた約40名につきましては、適切な感染予防策が実施できていたことが確認できたため、感染のリスクが高い処置を行った5名の職員を除き、順次職場へ復帰しております。

③ 安全宣言

懸念された院内感染は起こらず、今後の新型コロナウイルス感染への対応準備が整ったことをもって“南生協病院は安全”と宣言し、3月16日より、通常診療を再開します。

④ 南生協病院の使命

地域での新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。医療機関では、“身近に感染者がいる”ことを想定した対応が求められています。

緑保健センター、地域の開業医の先生方、大同病院・藤田医科大学病院など近隣の病院との連携を推進し、感染対策に取り組んでまいります。緑区で最大の二次救急病院として、地域のみなさんの安心安全を守るために役割を果たしてゆく決意です。

2. いまこそ地域みんなで感染予防に取り組みましょう

新型コロナウイルスは、若い人が感染した場合、何も症状が出ないか、症状の軽い風邪くらいですむことが多いといわれています。しかし、高齢の方や、もともと病気をお持ちの方に感染してしまうと、重症となり、時には命にかかわることがあります。

今、いちばん大切なのは、地域みんなで新型コロナウイルスを防ぐという強い気持ちでつながり、気が付かないうちに誰かにうつさないよう、ひとりひとりが感染の予防に取り組むことです。

①20秒以上かけた丁寧な手洗い、②咳エチケット、③発熱・風邪症状があるときは積極的に休む、④症状が軽いときは、自宅での療養を行う、この4つに取り組みましょう。

3. 地域の皆様へのお願い

この間、地域の皆さんから、「南生協病院は正直に発表してくれて安心した」「がんばれ」「頼りにしてるよ」など、多くの励ましの言葉をいただきました。

一方で、「南生協病院に受診した夫が勤務先で出勤停止になった」「保育園から南生協病院の職員の子はしばらく預かることができないと言われた」といった悲痛な声も複数寄せられました。保育園・小学校・勤務先の方々に、当院から丁寧に説明させていただくことで多くはご理解いただけました。何が正しいのかがわからない中で、皆さん、不安で悩みながら対応されていることがわかります。

新型コロナウイルス感染症の収束に向け、地域の皆様とともに誠心誠意取り組んでまいります。引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。